

抗がん剤治療に関する説明及び同意書

●あなたの病気・治療について

レポトレクチニブ（オータイロ）療法

最初の14日間は1日1回、その後は1日2回、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用します。

レポトレクチニブ療法（スケジュールと方法）

薬剤	治療法(目安)
レポトレクチニブ	最初の14日間は 1日1回内服 15日目以降は通常 1日2回内服 効果がある限り継続します。 

●副作用について

副作用の現れ方、出現頻度には個人差があります。抗がん剤による副作用は、薬で予防できるものや、症状を和らげることができるものもありますので、副作用が辛いと感じたときにも担当医にお知らせください。

起こりやすい副作用	味覚障害、めまい、運動失調、認知障害、末梢神経障害、肝機能障害、便秘、貧血
時として起こる副作用	下痢、吐き気、嘔吐、睡眠障害、白血球減少、目の異常
まれにしか起こらないが重い副作用	間質性肺炎

●起こりやすい副作用

① 味覚障害

味覚が変わる、味がわからないなどの症状がでることがあります。味付けを変えるなど、食事の工夫を行います。

② めまい

めまいや立ちくらみが起こることがあります。症状がひどくなる場合はご相談ください。

③ 運動失調

種々の動作や運動がスムーズにできない、ふらついてまっすぐに歩けないなどの症状があらわれることがあります。

④ 認知障害

記憶障害、現在の状況(時間や場所)が認識できない、精神状態の変化などがあらわれることがあります。日常生活に支障をきたす場合は、医師の判断で減量・休薬の対応を行い、症状の改善・回復を待ちます。

⑤ 末梢神経障害

手足がしびれる、ぴりぴりする、感覚が鈍くなるなどの症状が現れることがあります。感覚が鈍くなるとけがや火傷に気づきにくいので注意深く身体を観察してください。

⑥ 肝機能障害

肝機能の確認のため、定期的に血液検査を行います。疲れやすい、体がだるい、食欲がない等の症状が現れることもあります。肝機能障害がひどくなった場合、薬剤投与を中止することもあります。

⑦ 便秘

便秘が長引く場合は、便を柔らかくする薬や腸の動きを促す薬を使って、便通を改善するようにします。

⑧ 貧血

ふらつき、めまい、頭痛、疲れやすいなどの症状があらわれることがあります。症状がひどいときは、急激な動きは避けて安静にしましょう。

●時として起こる副作用

① 下痢

下痢の回数が増えると脱水症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。飲み薬や点滴による治療を行うこともあります。

② 吐き気、嘔吐

症状がひどくて食べられないときは無理に食べる必要はありません。脱水症状にならないよう水分はとるようにしてください。吐き気が長引いたり、1日に何回も嘔吐したりするときは吐き気止めを使うこともあります。

③ 睡眠障害

日中異常に眠い、夜寝付けない、悪夢を見る等の睡眠障害がおこることがあります。睡眠のリズムを整える薬を使うこともあります。

④ 白血球減少

白血球は外界の細菌から身体を守るはたらきをしています。白血球が減少すると感染症にかかりやすくなります。感染症を起こさないよう、手洗い、うがいを心がけてください。

⑤ 眼の異常

眼乾燥や眼の違和感、視力低下が起こることがあります。

●まれにしか起こらないが重い副作用

① 間質性肺炎

間質性肺炎(肺臓炎)は、発症した患者さんの半分近くが命をおとす危険な副作用です。風邪のような症状(咳がひどくなる・息切れ・発熱など)が現れたら、担当医に伝えるようにしてください。

抗がん剤治療による様々な副作用は上記以外にも起こることが報告されています。適切な治療を行ったにも関わらず、お亡くなりになる方もいらっしゃいます。上記のような症状、または上記以外でもいつもと違う症状が出た場合は、担当医まで連絡してください。

以上がん化学療法について説明をしました。 西暦 年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

@USERSECTION 担当医師

上記について担当医から説明を受け、納得しましたので治療を受けることに同意します。

西暦 年 月 日

患者氏名

親族又は代理人(配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法定代理人・その他)

氏名

続柄